

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>福岡県の国際化をけん引し得る実践的な知性と行動力を持った人材を育成する学校</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価を踏まえた「基礎学力の充実」に基づく思考力・判断力・表現力 ・「十則」の指導に基づく道徳的実践力 ・国際理解教育, 人権教育に基づき, 他者と協調・理解できる人間力
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践力「十則」に基づき, 知・徳・体の調和の取れた豊かな人間性の育成 ・県下唯一の国際文化コースを中心に, 充実した語学及び国際理解教育の実践 ・学習活動, 学校行事, 部活動等すべてを通して生徒の「人間力」を高める教育活動
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守る生徒 ・礼儀正しい生徒 ・他者のために役立つ生徒 ・集中力のある生徒 ・真摯に学問に取り組む生徒 ・バイタリティがありエネルギーで個性的な生徒

学校運営計画(4月)

学校運営方針	生徒の主体的な学び、他者や地域との協働的な学びを推進し、生徒が達成感や充実感を味わうことで、社会に貢献する志を持つ逞しい生徒を育てる。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>昨年度の成果は、観点別評価の本格導入、生徒の学習意欲向上につながる教務規定の改定、生徒の意見を反映した校則の見直し、データに基づいた進路指導など、前年度の課題を踏まえた積極的な改善の取組を実現できた。</p> <p>今年度は、生徒の主体的な活動の機会を更に増やし、生徒の愛校心の醸成、学校生活の充実、新たな自己の適性や能力の発見及び伸長を課題として取り組む。</p>	学習意欲の喚起及び基礎学力の定着のための授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した主体的・協働的・探究的な学びに繋がる授業の推進 ・学習意欲向上のための観点別評価の工夫・改善 	
	生徒の多様な個性や能力を鍛えて伸ばす積極的生徒指導と教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の個性と主体性を重視した教育活動の実施 ・職員間の情報共有や組織的指導及び保護者、SC等との連携の強化 	
	生徒の能力・適性、社会の状況に応じた進路選択や自己実現を図る態度を育成する進路指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画的・継続的な進路指導の実施 ・総合的な探究の時間を活用した自己の能力・適性の理解、意識高揚 	
	多様性を受け入れ、自他を尊重できる人材育成のための道徳的実践力の涵養および人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「十則」の実践をととした自他を尊重する精神や公德心の育成 ・人権教育を推進・充実させ、生徒の人権意識を向上させる。 	
	自己肯定感や達成感を得ることができる教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・個の多様性を理解し、相互に認め合うことのできるクラス運営の充実 ・生徒が主体的に学校行事や委員会活動・部活動を行う校風の醸成 	
	本校の魅力と情報を効果的に伝え、入学志願者増加に寄与する広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生体験入学、部活動見学日に加え、オンラインでの広報の拡充 ・中学校や塾に向けた学校情報の丁寧な伝達 	
家庭・地域社会との連携強化と信頼関係の維持増進	<ul style="list-style-type: none"> ・Classi、一斉メール送信等での情報共有による保護者との連携の強化 ・PTAや同窓会活動の活性化に資する協議や協働事業の強化 		

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	学習に取り組むための環境を整備する	「十則」の趣旨を踏まえ、「瞑想」や挨拶をきちんと行うなど、授業規律確立のための指導を継続して行い、生徒が主体的に学習する環境作りを行う 生徒、職員共に5分前行動を意識し、「チャイムからチャイム」の授業を徹底する 教室環境整備を徹底し、学習の場としての教室、講義室等の有効利用を図る	授業アンケート	
	基礎学力の確実な習得のための授業の工夫・改善に努める	各教科・科目の学習指導計画を検証し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る 観点別評価を取り入れた学習評価を実施し、生徒の学習意欲の喚起と学力向上につなげる 主体的・対話的で深い学び(AL)やICTを活用した授業を全教科で実施し、思考力・判断力・表現力の育成に努める	授業アンケート	
	課内の業務を円滑に行い、学校の活性化・特色化の推進に努める	生徒の実態を考慮しながら進路希望に応じた教育課程、類型選択や教務内規の継続的な検討を行う 校務支援システムの活用を向上させるとともに、成績処理におけるチェック体制を強化する 課内業務を検証し、1つの業務に複数職員であたり業務力を向上させるとともに職員間の業務の平準化を図る	授業アンケート	
広報課	中学生体験入学の申込総数第1回、第2回合わせて900人以上(令和5年度は873人)	年間4回行う中学校訪問の内、2回の訪問の中で中学生体験入学の広報活動を行う。具体的には、①体験入学ポスターの配布②中学生体験入学の内容説明③中学生へ参加を促してもらう依頼を行う。①～③の内容を担当する先生方へ周知徹底できるように準備を行う 玄界高校公式Instagramを通して中学校体験入学の広報活動を行う。また、中学生が、本校に興味、関心を持つ内容をアップする。具体的には①動画や写真による中学生体験入学の内容の告知②本校生徒も含めたフォロワー数の増加を目標とする。(第2回体験入学までに1300名以上) 他校の中学生体験入学の情報を調べ、昨年度よりも充実した中身にしていく。具体的には、①ステージ発表の工夫②部活動の魅力発信③食堂体験の充実④新たな内容の追加である。例年の内容にこだわらず、中学生が「行きたい」と思うような体験入学を計画する	事後アンケート (申込forms、FAX、メール)	
	対外的な広報活動の充実	学校案内パンフレットのの中身を充実させる。具体的には昨年度の内容に追加して、「玄界高校に入学したらどのような学校生活を送るか」が理解できる内容にする 第4学区進路相談事業において、他校に引けを取らないような内容を考える。具体的には①目を引くような掲示物の作成②学校の様子が端的に分かる動画の作成③ブースに入りやすくするためのPOPの充実を図る 部活動見学会、塾説明会、放課後学校説明会の広報活動をInstagramやHP、中学校訪問で積極的に行い、参加者の増加を図る。	事後アンケート (申込forms、FAX、メール)	
	生徒一人一人が玄界高校の広告塔であるという自覚を持たせる指導	部活動や進路状況、大きな学校行事や、クラス単位の小さな事まで、学校で起きていることをできるだけ多くの生徒、職員と共有できるようにする。具体的には①中央ホール校内掲示板の利用②広報委員が作成した動画を公式Instagramに載せる(動画版「玄旬」を作る)ことを目標とする 広報委員会の活動を充実させ、行事毎に模造紙や動画を用いた「玄旬」を作成する HPや公式Instagramへの動画、写真のアップを積極的に行うことで、生徒の学校への関心を高めさせ、玄界高校のことが好きな生徒を増やす	広報誌の作成回数(2ヶ月に1回以上) Instagramのフォロワー数(1,300人以上)	

様式3

研修図書課	教科や教職の専門性を高めるための校外研修への参加を積極的に働きかける。また、時代に即した有用性の高い校内研修を企画し実施する	福岡県教育センターをはじめとした校外研修や講演の案内を職員に周知し、校外研修を受けやすい環境作りに努め、ICT活用に関する校内研修を情報課や情報通信技術支援員（ICT支援員）と協力して年間3回以上実施する 相互授業参観期間を1学期、2学期に設定し、教科を越えた授業研修を行う。2学期の授業参観期間後に授業研修全体会を行い、授業参観の中で得られた成果や課題を全教科で検証、情報共有を行う。また各課と連携し、生徒情報を共有することでさまざまな生徒指導に対応できる研修を行う	授業アンケート	
	教員としての自覚を高めるために、若年者の研修を行うとともに、教育実習生を積極的に受け入れ次世代を担う教員養成を図る。また研修紀要『創造』として1年間の成果を職員全体に還元する	教員の基礎的素養や各研修を通して、本校における教育の理解を深める。またケーススタディを取り入れながら、本校に即した指導法を検討する。また実習生に応じた指導法を検討し、教科や分掌と連携し研修を実施する 1年間の校内外研修の成果や個人研究及び研修内容、行事などの成果を掲載し、職員全体に還元するとともに、職員の自己啓発を促す。	授業アンケート	
	蔵書内容の充実を目指し、読書の奨励と図書館利用の促進を図る	各教科と連携しながら図書貸出冊数が前年度より100冊増加することを目指す。そのための手段として新生入生オリエンテーションを実施し、図書館利用と読書を奨励する なるにはコーナーなどを充実させ、生徒の進路選択、進路実現や資格取得のためのサポートを行い、調べ学習の円滑な実施を進める	生徒対象のアンケート	
	図書委員会の育成、活性化を図る	読書週間等の行事に関する計画性、企画力を高めるとともに、12月に書店訪問を行い、図書委員が直接選書し、図書館だより等で広報する 読み聞かせ活動を広げ、訪問朗読会など本を介しての活動による地域貢献と図書委員の育成を目指す	生徒対象のアンケート	
生徒課	十則の理念に基づき道徳的実践力を高める	第一学年を生徒指導重点学年と位置づけ、学年と連携し「十則」の理念に基づき道徳性の涵養を図る。第二・第三学年に対しても継続した指導を行う 登下校においては、自己の安全に留意するとともに周囲への配慮を意識するよう指導する。また、地域の一員としての自覚を促すことで自尊尊重の精神の涵養を図る 生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導に努め、十則の最後にある「ありがとうの感謝の気持ちを持つこと」ができる生徒の育成に努める	「十則」自己評価表	
	問題行動やいじめの未然防止に努めるとともに、適切且つ迅速な対応を図る	生徒の多様性を踏まえた生徒指導の充実を図るため、個人面談やアンケートを活用しながらカウンセリングマインドを活かした生徒理解に努める。また、保護者との良好な関係構築に努め、連携協力体制を強化する 生徒の些細な変化を早期に捉えるために週番活動や校内巡視を組織的・計画的に実施する。また、生徒指導上の問題に際しては、組織的且つ迅速に対処できる体制を整備する 携帯電話・スマートフォンに関するマナーと併せて、SNS等におけるモラル向上の指導に努める	学校生活アンケート 月例いじめアンケート 家庭用いじめチェックリスト(保護者向け)	
	生徒の自主性を活かして学校活性化を図る	健康・安全に配慮しつつ、保護者や地域との繋がりを体験できる学校行事の実現を図る。そして、その過程において生徒が自己肯定感や自己有用感を味わうことができるよう内容や方法を模索する 部活動加入率70%を目指す。生徒が生き生きと活動できる環境を整備する。健康・安全に留意した活動を推進することで自他を尊重する資質や態度を向上させる 生徒会活動や部活動を通じて、協働する力だけでなく、リーダーとしての資質向上を目指し、生徒の主体的な活動を奨励する	学校生活アンケート	

様式3

保健課	健康的な学校生活を実現するための指導	感染症対策を徹底しながら身体計測・健康診断を計画的に実施する。生徒・職員の健康状況を把握し、健康を保持・増進するための指導や助言を行う。	生徒対象のアンケート	
		配慮が必要な生徒について、各学年・生徒課等と情報を共有し、面談やカウンセリングを活用するなど、的確な指導助言を行う。		
		保健室の利用状況を担任及び学年に報告し、心身の状況を改善する具体的な方策を協議する。		
	校内外の環境整備の徹底	委員会活動を活性化させ、生徒全員による清掃活動の徹底により環境を整える	生徒対象のアンケート	
		掃除道具の交換・補充や点検活動を定期的実施し、生徒・職員の美化意識の向上を図る		
定期的に安全点検を実施し、施設の維持管理と安全対策の強化を図る				
各学年や生徒会・部活動と連携し、地域清掃を計画し、奉仕の精神を培う				
保健・整美委員会の自発的活動の促進	保健だよりの作成や清掃の呼びかけ等、役割を意識して自主的に活動できるように的確な指導を行う。健康・安全等に関する広報活動を充実させる	生徒対象のアンケート		
感染症対策の充実	感染症対策の意識の向上を図るため、日常的な指導に加え、マスクの着用・アルコール消毒・換気・黙食などを生徒自らが社会の状況と学校の方針等に合わせ、効果的に実施できるようにする	生徒対象のアンケート		
	感染症対策とともに、生徒自らが健康に留意し、体調管理を行えるように指導する			
企画課	関係分掌・係と連携し、儀式的行事や合格者登校日関連の実施要項の立案と提示を余裕をもって早期に行う	課内の業務分担を整理し、具体的作業の年間計画を立て、関連する他分掌との協力・連携を深め業務を進行する	要項起案1ヶ月前実施の達成度	
		コロナ禍で学んだ様々な手法を参考にしつつ、より教育的効果の高い方法で、儀式的行事を実施する		
		創立記念講演の企画・立案は、早期に着手し、適切な外部の講師の選定を行う		
	企画課が関連する発行物の、内容改善・充実を図り、制作を円滑に進める。	PTA広報誌と図書館報との記事のバランスを取りながら、学校新聞「公孫樹」編集に計画的に取り組む	紙面内容における重複を調査	
		合格者説明会の説明時間をより短縮できるように、「入学の手引」の掲載内容を精査し、編集を行う		
		PTA広報紙の内容がより良くなるように、PTA広報委員会の記事作成のための素材収集等の援助を行う		
PTAおよび同窓会の活動が円滑に行われるように、役員と連携し適切な情報交換と支援を行う。	PTA活動が発展・充実するように、PTA役員と連絡を密に取り合い、役員会や各委員会が活動内容を充実させることができるように支援する	理事・役員へのアンケート		
	同窓会の活動がより活性化するように、校内委員の業務を整理して計画的に進め、役員会との連携を深め、組織的に取り組むことができるように支援する			
	PTAと同窓会の双方へ働きかけ、40周年記念行事関連の準備を始める			

様式3

	進路指導の確立	年内入試の受け入れが拡大する中、小論文・面接・志望理由書の指導方法の型をマニュアルとして作成し、指導の統一を図る	授業アンケート 進路希望調査	
		各学年の進路決定に向けた行動目標を設定し、時期に応じて進路指導の方針に沿った達成目標を統一化する		
		各学期に1度の進路希望調査実施を徹底する。個人面談等に利用できる資料等を作成し、進路について考える時間を充実させる		
進路課	生徒の進路希望実現に向けた取組の充実	長期休業(夏季休業、冬季休業)に外部で学習する機会を設定し、学習の継続性を保ち、他学年と切磋琢磨に自学することで、学力向上を図る	授業アンケート 進研模試 志望理由書添削	
		定期考査等を模試を意識した問題を一部作成してもらう等、他分掌・教科との連携を行う。模試や検定試験の結果の分析も随時行い、必要であれば結果の掲示をするなど生徒・教員の意識向上を図る		
		志望理由書・面接指導などを意識した取り組みを1年次から行い、総合型選抜、学校推薦型選抜の受験者への指導を充実する		
	進路情報の共有	入試に関わる資料や書類等を正確に作成し、先を見通しながら早期に提供することで、3学年部を支援する	進路希望調査 スタディーサポート	
		掲示物や資料の充実を図り、進路資料室の活用を促す		
		入試結果や進路に関する情報を「進路の手引き」やHP等を活用して発信し、生徒と保護者の進路選択を支援するとともに在校生や入学予定者に最新情報を提供する		
情報課	授業や学習活動におけるICT活用の支援	電子黒板やChromebookの保守、管理を継続する	授業アンケート	
		授業用アカウント(主として教師用、生徒用のG Suiteアカウントなど)の管理や授業用フォルダ(新生徒ネットワーク)を整理する		
		Chromebookや電子黒板、Google Education で実践可能なソフトウェア活用を周知、支援する(研修課と連携、校内研修など)		
	校務におけるICT活用の支援	校務用パソコンを中心としたICT機器の保守、管理を継続する	職員向けアンケート	
		共有フォルダや授業用フォルダ(校務ネットワーク)を運用、管理する		
		デジタル採点システムをはじめとしたソフトウェア活用を周知、支援する(研修課と連携、校内研修など)		
内外への情報発信におけるICT活用の支援	ホームページの運用、管理を継続する(広報課と連携、本校生徒・保護者や中学生への情報発信の補助)	保護者者向けアンケート		
	新ホームページへの移行措置、運用を実施する			
	一斉配信メールを活用した緊急連絡体制を運用、管理する			

様式3

国際教育課	国際文化コースの特色化を図り、その充実・発展を促すための行事を活性化させることをとおして、豊かな国際感覚を身に付けた生徒の育成を図る。	[特色化]大学訪問による留学生との交流、大学生との交流などの高大接続、英語研修としての英語村研修の実施や、縦割りを意識した学年交流の英語ディベート大会・スピーチ大会など、特色のある行事の充実を図る。可能な範囲で普通科にも広げて行事を行う	事後アンケート (中学生対象)	
		[研修の充実]国際文化コースの生徒を対象とした講演会を年2回程度行い、事前事後学習を行うことで、内容の定着や自らの考え方の幅を広げ、国際感覚や人間性を磨く機会を設ける		
		[広報活動の充実]国際教育広報新聞の年3回発行や各行事毎の速やかなホームページへの掲載、中学生へのオープンキャンパスでの発表により、中学生や地域への細やかな広報活動を充実させていく		
	国際教育プログラムの円滑な運営をとおして多様性を受け入れ、自他を尊重できる人材育成を図る。	[中期・長期派遣]説明会により、広く海外派遣についての周知を行い、希望者へのきめ細やかな指導を行い、派遣後もレポートでの学習把握や業者とのやり取りを綿密にし、サポート体制を充実させる	事後アンケート (ホストファミリー受入生徒対象)	
[短期留学生受入]オーストラリアの姉妹校からの生徒受入の企画・実践を行う。ホストファミリーの役割を担い、国際的感覚の滋養を高める機会とする				
帰国生徒教育の充実を図り、充実した教育活動を実践する。	[セミナーの開催]海外進学支援の一環として、海外大学進学セミナーを実施する。30人以上の参加を目指し、個別の相談などにも応じる	事後アンケート (帰国生徒対象)		
	[帰国生徒委員会]帰国生徒等に関する情報交換を密に行い、帰国生徒に対する適切な指導体制の構築を図る。定期的な面談指導を行い、進路指導を充実させる			
	[日本語指導の充実]帰国生徒等の日本語習熟度に応じた適切な日本語指導を行う。日本語検定を積極的に受験させ、卒業後の進学・就職への一助とさせるよう指導する			
第1学年	基本的生活習慣の確立	[十則]の理解を図り実践を促す。中学校までとは異なり、コミュニケーション力不足による衝突が起き易いため、1年次では特にコミュニケーション力を付けることに力点を置き、「十則」を積極的に活用した指導を行う(挨拶、時間厳守、正しい言葉遣い)	学校生活アンケート	
		自己管理ノート(手帳)を作成し活用させる。生活の中に達成すべき目標を常に持たせ、実現・達成のために計画をたて、結果を省みさせることで行動を管理する意識と能力を身に付けさせる(手帳で自己管理)		
		保護者の協力を得て連携を図り、遅刻・欠席・早退の生徒動態を正確に把握して生徒理解を深め、出席率の向上につなげる(安易に遅刻・欠席等をさせない)		
	基本的学習習慣の確立	教室が学究的雰囲気となるよう生活環境を整え、美化を徹底し、授業に集中し学習し易くなるよう図る(学習環境を整える)	学校生活アンケート 授業アンケート	
		予習、復習に積極的に取り組ませるとともに、宿題や課題は内容を伴って期限を守り提出するという心を育て習慣化を図り、学習時間の確保を促す(期限を守って提出)		
		知・徳・体のバランスの取れた人材へ成長するように、チャレンジセミナーの受講や各種検定のチャレンジ、部活動への加入等を促して、学力やスポーツ・芸術の能力向上を目指すことで、メリハリのある生き生きとした生活を心がけさせる(文武両道を目指す)		
進路目標の設定	授業を通してのみならず、「総合的な探究の時間」「ホームルーム」「行事」等においても、自己理解を深めさせる。そして自分自身の未来について真剣に考え、進路目標を見つけていけるようサポートする(自己理解)	学校生活アンケート 授業アンケート		
	個人面談や三者面談などの機会を通し、生徒の情報収集に努め、生徒の思考の背景にあるものを探り理解し、具体的なビジョンを持てるよう促す(生徒情報の収集、共有と連携)			
	自分が目指す将来の道に必要なもの、必要なことを調べ考えさせ、今すべきことやその先でなすべきことを探求させ、準備し実践していくことができるように支援する(進路実現のための準備と具体的行動)			

様式3

第2学年	凡事徹底	瞑想から挨拶を整然と行い、落ち着いた学習活動の始まりを作る。	学校生活アンケート 十則自己評価	
		小さな気づきやほんの少しの手間を惜しまずに生活できるよう清掃活動を徹底する。		
		朝の登校指導を通じて、安全に対する意識の向上を図るとともに地域の方との信頼関係を構築する。		
	進路実現に向けた自己理解の深化	類型別の学習からより得意なことや興味・関心を惹くもの、自己の適性を理解する。	学校生活アンケート 十則自己評価	
		個人面談やガイダンスだけでなく、校外模試の結果などからも自己の適性ややりたいこと、なりたいものに気づくよう促す。		
		総合的な探究の時間において様々な情報に触れたり、活動をすることで自己理解を深める。		
	リーダーとしての資質向上と機会の増加	文化祭や体育大会などの学校行事などにおいて、中堅学年としての役割と責任を果たすよう自覚を促す。	学校生活アンケート 授業アンケート	
		部活動においては、中堅、最上学年になるので主体的に判断し、行動できるようになるための機会を増やす。		
		修学旅行や総合的な探究の時間を経験することで自己の役割と責任を果たし、自己有用感を育む。		
第3学年	進路実現に繋がる生活習慣の確立	十則にある「大きな声で挨拶をすること」、「時間を厳守すること」、「掃除は進んで行うこと」の3点に重点を置き、授業やHR、集会等で意識させ、実践させる	生徒対象のアンケート	
		誤った言葉遣いや態度については、学年全体で根気強く指導していき、カード指導と取り返し行動を継続していく		
		日々の出席が進路実現のために重要であることを周知し、体調の自己管理に努めさせる。また遅刻指導も学年全体で行っていく		
	進路実現に繋げる学習習慣の確立	教室の環境整備を徹底し、授業に集中できる環境を整える。また、提出物の期限を厳守させる	生徒対象のアンケート	
		授業開始時における名札の着用や瞑想・礼など基本的なことを毎時間しっかりと行うことで、授業へ参加する意識を高め学習効率をあげる		
		放課後に自学用の教室を用意する等、受験を視野に入れた学習環境を整える		
	将来の職業選択までを見据えた、個々の能力、適性に応じた進路実現	体育大会などの学校行事を通じて、最高学年としての責任感とリーダーシップを培う	生徒対象のアンケート	
		早期に具体的な進路目標を決定させ、進路実現に向け努力させる		
		面談の充実を図り、入試形態に応じて組織的に指導を行う		
事務部	予算の効率的な執行	予算令達の動向を想定し、年間通しての執行状況を把握して、限られた予算を最大限に活用する		
	環境整備の充実と安全管理の徹底	グラウンド改修工事は、教員や業者との連携を密にとり、工事が円滑に進むよう努める。併せて、校内の危険箇所が発生した場合は、予算要求を早急に行い、迅速に処理する		
	保護者等への丁寧な対応	就学支援金や奨学金給付金等の保護者への連絡文書は、わかりやすい文書の作成を心掛け、質問等の問い合わせに対し、丁寧な対応をとる		